

コミュニティ・スクール制度化 20 周年記念コンクール最終審査結果

キャッチコピー部門

■最優秀賞

作品(キャッチコピー)	作品に込めた思い	都道府県	学校	学年	名前	応募方法
学びの輪、地域の和。未来へ繋ぐ	地域・世代を超えて互いに繋がり、助け合い、学びを深めてほしい。そして明るい未来をみんなで築いてほしい。そんな思いを込めました。私がこの言葉の中で一番こだわった点は漢字です。同じ読みをする「輪」、「和」には以下のそれぞれの意味を込めました。学びは仲間がいることで、広がり、深まるから、「輪」には繋がり。また地域との関わりを通して思いやりの心が養われるから、「和」にはやさしさ、なごやかさ。	鳥取	鳥取県立鳥取西高等学校	2年	提島 尚子	個人

■優秀賞

作品(キャッチコピー)	作品に込めた思い	都道府県	学校	学年	名前	応募方法
学び合い、つながり合い、地域とともに未来へ	学校が地域社会と連携し、子どもたちが地元の課題や魅力を学びながら成長する姿をイメージしました。「学び合い」は子どもたち同士や地域住民との交流を、「つながり合い」は学校と地域が協力し支え合う関係を表現しています。このキャッチコピーには、教育を通じて地域の未来をともに切り拓き、持続可能な社会を築きたいという願いを込めています。	岡山	岡山県立津山中学校	3年	岡林 俊介	個人
繋がる思い、繋げる未来	地域と学校の思いが繋がって日本の良い未来をつくっていければいいなと思ったからです。	山口	下関市立文洋中学校	2年	上石 叶梨	個人

■特別賞

作品(キャッチコピー)	作品に込めた思い	都道府県	学校	学年	名前	応募方法
つながりのはじまり	私が通う高等学園は、地域で現場実習を行うなど、地域とのつながりが強い学校です。地域で学ぶこともたくさんありました。学校は社会に出る前に通うところですが、すでに地域とのつながりが始まっている場所でもあるという思いを込めて、このキャッチコピーを作りました。	宮城	宮城県立支援学校女川高等学園	1年	伊藤 愛夢	個人
つながる 広がる 学びの庭	コミュニティ・スクールの活動を調べてみると、地域の人といっしょに地元の食材を使って商品を作ったり、放課後に地域の人からスポーツを教えてもらったりと、授業では体験できないようなことをしていて驚きました。コミュニティ・スクールの魅力は、人と人がつながり、学びの場所が街全体に広がっていくことだと思います。コミュニティ・スクールの良さを伝えられるように、このキャッチコピーを考えました。	愛知	大府市立大府小学校	4年	井原 彪	個人

ロゴマーク部門

■優秀賞(最終選考対象作品)

作品(ロゴマーク)	作品に込めた思い	都道府県	学校	学年	名前	応募方法
	地域と共にある学校をイメージしました。中央に学校を、周囲に円形でコミュニティを描くことで、両者の親密さを表現しています。使用する色数を絞ることで文字が目を引きデザインとしました。	東京	三鷹中央学園三鷹市立第四中学校	3年	船木 ことね	個人
	さくらんぼに「善良な教育」という花言葉があることを知り、さくらんぼをモチーフにすることにしました。コミュニティ・スクールの頭文字であるCとSを使ってさくらんぼを表現しています。また、「COMMUNITY SCHOOL」のアルファベットの一部分を子どもの顔にし、「地域とともにある学校」が子ども達の笑顔や、地域のよりよい未来につながりますようにという思いを込めました。	東京	東京都立新宿山吹高等学校	2年	廣江 彩音	個人
	この作品は、コミュニティ・スクールと地域が共に未来に進んでいくことをイメージして、手を取り合っているイラストと学校を中心部に置き強調し、描きました。四葉のクローバーは見つけると幸福が訪れるという昔からの良い伝えがあるため、背景にしました。また、四葉のクローバーの色は緑は地域、オレンジは子供、青は学校、桃色は家庭というそれぞれの言葉のイメージカラーを調べ取り入れました。	岐阜	岐阜市立長森中学校	1年	加藤 柚希 早川 莉彩 鷲本 梨衣奈	団体
	コミュニティー・スクールの頭文字「C」と「S」です。子どもと先生と地域の人とが笑顔で交流するところをデザインしました。	滋賀	大津市立皇子山中学校	3年	山本 希未	個人
	学校の校舎を背景に地域と学校で手を取り合っている様子をロゴにしました。手の色が校舎の色と反対なのは、地域と学校が、互いの意見を交換して認めあっている様子を描きたかったからです。私の通っている学校もコミュニティ・スクールで、地域と関わることで色々な経験ができていますので、コミュニティ・スクールがもっと広まればいいなと思っています。	山口	下関市立文洋中学校	2年	廣瀬 釉己	個人